

花と緑の
あふれる
まちづくり

岡山市連合婦人会会報

平成27年10月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
塩見 横子
岡山市中区小橋町
電話 二七二七八八六
一三一三〇
印刷所
岡山市北区表町一―一四〇
（株）内外総合通信社

青空に子どもの歓声

家族ふれあいフェスティバル 会員が各所でお手伝い

九月十三日、家族ふれあいフェスティバルを日応寺自然の森スポーツ広場で開催しました。
午前十時、塩見横子市連合婦人会長の開会あいさつ後、恒例の香和中学校吹奏楽部の楽しい演奏で始まり、澄みわたった大空の下、時折の飛行機の騒音もさわやかなアクセントで、各ブースでは婦人会員が張り切ってお手伝いしました。



風船の入場門と受付担当の婦人会がお出迎え



心地よい汗をかいたウォーキング

ペーパークラフト
花と葉っぱで素敵なしおり
お花はこっち、葉っぱはこっち、彩りも考えて紙の上に丁寧に並べて、あっとい間に素敵なしおりができ、最後はリボンをつけて完成です。
三百枚のしおり作りで笑



花や葉を並べてしおり作り

お餅つき
杵と臼でべったんべったん
地元町内会のお餅つきは子どもたちが行列してお餅をべったんべったんと杵と臼で搗きました。搗き立てのお餅は、あっとい間に売り切れました。
紙トンボ・ブーメラン
大人も子どもも懸命に競争



子どもたちが餅つき体験

ウォーキング
1時間かけて全員無事完歩
お父さんの腕の中の幼児をはじめ子ども六十九人、大人六十一人、四人のウォーキング協会の指導員、少年自然の家の指導員の方を含めて総勢約百四十人が、自然の中での楽しみ方と身を守る方法（マムシ、スズメバチ、ウルシの葉などを教わり、ストレッチの後出発しました。湿原でちょっと足を滑らし、急な階段の上下、丸太で組んだ橋を渡るスリルなど、家族もお友達も初めての人も助け合い気遣いながらゴールを目指します。途中休憩をはさみ、水分補給も欠かさず、さわやかな風と心地よい汗、元気な子どもたち、なかよしファミリーを見ている幸せいっぱいのおふれあいのウォーキングでした。約一時間後全員無事に完歩しました。小学生の女の子が「大変だったけど楽しかった」と笑顔で話してくれました。秋日和に恵まれ自然の森のウォーキングコースを満喫しました。



恒例で大人気のバルーンアート

野外での味わい一層美味に
炊き込みご飯を手分けしてパック詰めしました。秤で分量をきちんと計りながら、パックに入れ、バランスを入れる人、漬物をつける人、輪ゴムをかける人と、流れ作業で作りました。野外で食べる炊き込みご飯はともお



3個の輪を的へ向けて投げる輪投げ

風船の剣や花でここにこ顔
恒例で大人気のバルーンアートは、ボラン

ティアの役員さんが次々と来る子どもたちに汗だくで対応していただきました。剣やお花を作ってもらいにここ顔でお母さんに報告し、とても嬉しそうでした。

ポウリング・輪投げ
ストライク目指し真剣投球
さわやかな秋晴れのもと開会と同時に続々と集まる親子連れや小学生がベクトルボールポウリングに挑戦しました。ストライクがなかなか出なくて真剣にボールを投げていました。

バレエ大会
18チームが熱戦
大元が優勝、2位鹿田
七月二十日、岡山市総合文化体育館で恒例の婦人バレエボール大会が十八チームの参加で開催されました。優勝は大元学区、準優勝は鹿田学区、三位が平福学区と吉備学区でした。選手・審判・役員の皆様本当に御疲れ様でした。



表彰式で優勝した大元チームへ賞状が贈られた

お世話も大変でしたが子どもたちとも楽しい体験ができました。
家族ふれあいフェスティバルの運営を支えた婦人会員ら
その他、地元のピオーネ、カレー、うどん、かき氷、焼きそば、どら焼き等の屋台もにぎわっていました。抜けるような青空のもと遊具やボールで遊び、心地よい子どもの歓声、和やかな親子の会話も恵まれて初秋のさわやかな青空のもと、大勢の参加があり、とてもにぎやかに行なわれました。いろいろなテントの前に行列ができて、みなさん元気にゲームも行われ楽しい一日になりました。スタッフの皆様お疲れ様でした。と、青少年健全育成部、青山和子部長の言葉でした。



家族ふれあいフェスティバルの運営を支えた婦人会員ら

心通うまちづくりへ

地域の取り組み学ぶ

会長研修会

七月九・十日、「心のかよいまちづくり」をテーマに岡山市連合婦人会会長研修が実施されました。先進的な取り組みをしている地域を見学、意見や情報の交換をすることで学習し、地域の女性リーダーとして「人づくり」「まちづくり」を進めていくことを目的としています。

1日目

地の利生かす 発電方法学習
のれんのまち・勝山を散策しました。石畳が敷かれた道の両側に個性のなれんがかけられた店が並んでいて親しみを感じました。格子戸・土間・漆喰壁があたたかくお客を迎えてくれるよう疲れを忘れて歩きまし

た。美しいまちなみ大賞を受賞されたと聞きました。

続いて環境にやさしい真庭バイオマス発電の学習をしました。真庭市の八〇％が森林である地の利を生かし間伐材、木材片、切り落とし枝などを燃焼させてきた蒸気がタービンをまわし、発電する仕組みでした。大きな話題となり観光ツアーが組まれているそうです。ESDを勉強した私たちはガイドの説明を熱心に聞きました。

2日目

魅力アップへ意見出し合う

二日目は、久世エスパセンターにて、内田課長補佐の指導で「婦人会の魅力づくりについて」のワークショップでした。五グループそれぞれが決めたテーマでメモ用紙に各自の意見を記入し、模造紙に整理して

張り、装飾を加えてグループで発表しました。なぜ魅力づくりが必要なのか。現状を話し合う。みんなが悩んでいる問題であり真剣に討論された。解決策を討議する。弱みを強みに変えるそれが魅力につながるのではないかと。そこで婦人会の魅力は何かというワークショップ。多くの意見が出ましたが、楽しく仲間づくりができることに賛同しました。

ワークショップで出た意見をグループごとに発表



「美しいまちなみ大賞」を受賞されたと聞きました。

続いて環境にやさしい真庭バイオマス発電の学習をしました。真庭市の八〇％が森林である地の利を生かし間伐材、木材片、切り落とし枝などを燃焼させてきた蒸気がタービンをまわし、発電する仕組みでした。大きな話題となり観光ツアーが組まれているそうです。ESDを勉強した私たちはガイドの説明を熱心に聞きました。

午後、隣の旧遷喬尋常小学校へ視察に行きました。ルネッサンス様式の左右対称建築で明治四十年巨額の費用を投じて建てられた木造校舎が開校し、平成十一年国指定重要文化財となりました。印象に残ったのは木の感触、ぬくもりで、建築材は地元産の優れた杉、ヒノキだそうです。分厚い床板、階段、教室の戸は百年以上経過しても威風堂々とたたずんでいました。また講堂の天井は、宮大工が手掛けた二重折上げもので非常に高度な技術の天井でした。

給食をいただきました。アルマイトの食器にパン、牛乳、カレー、野菜の甘酢煮の献立でした。学校給食そのま

「クリーンセンターまにわ」に併設されたリサイクルプラザまにわ



姿のボランティアスタッフが玄関でにこやかに迎えてくださいます。リユース・リデュース・リサイクルを目的に行政の協力を得ながら運営されています。



ワークショップで出た意見をまとめた模造紙

昼食は町おこしボランティアが作ってくれた旧遷喬尋常小学校の



昼食は旧遷喬尋常小学校の給食

二日間の研修が知識を豊かにし、自分の体験、生の情報キャッチなどを通じて今後の婦人会活動に取り入れて、より素晴らしい婦人会になればと願っています。

岡山市連合婦人会運営体制図



※48学区・地区が一役を担う

主婦連ゼミ 1泊2日

役員7人が東京で研修

総会、講演会のほか視察も

6月2、3日に岡山市連合婦人会役員6人が主婦会館（東京都千代田区）で開催された主婦連総会、消費者ゼミナールに参加しました。また、岡山県の首都圏アンテナショップ視察と国立国会図書館見学も行いました。それぞれについて報告します。



岡山での活動について報告する塩見会長

主婦連総会

各消費者団体が活動報告

六月三日、東京千代田区の「主婦会館」で主婦連合会の総会が開催されました。岡山市から会員七人が参加しました。平成二十六年度運動報告、決算報告。二十七年

七月年度運動方針、予算通りでした。審議、引き続き、新役員承認と議題が終了しました。各地の婦人会、消費者団体等からの報告および主婦連合会各部署の報告内容は、次の通りです。

【団体の活動報告】八丈島「ごみ処理問題。地熱理解促進事業。島で硫化水素が多く産出されることで地熱発電に力を入れています。」

熊本「米の表示について、買い物袋持参運動、エコライフ講演会。いずれも参加者が高年齢の現状で、参加を促す努力をしている。」

大阪支部「高齢者発行して生活情報を提供している。」

また三月と六月にクサヤ（魚類の干物）配布。課題は会員減少。岡山「調査研究事業。リサイクルバザー、ベスト消費者サポーター章受章。」

原発に頼らない安心できる社会に向けた取り組みについて学びました。原発は危険も伴い採算もあわない発電方式ということで、吉原氏

は地産地消のエネルギーを推奨されました。発電方式を太陽光、シ

は地産地消のエネルギーを推奨されました。発電方式を太陽光、シ

消費者ゼミナール

原発から地産地消エネルギーへ

六月三日、主婦連消費者ゼミナールで、演題「原発ゼロで日本経済は再生する」、講師は城南信用金庫理事

原発に頼らない安心できる社会に向けた取り組みについて学びました。原発は危険も伴い採算もあわない発電方式

は地産地消のエネルギーを推奨されました。発電方式を太陽光、シ

を狙った詐欺事件が後を絶たず、消費者、行政、企業が三位一体となって、自立した消費者を目指して講座や啓発を行っていること、特に子どもの消費者教育が重要と考え今年で三十八回の子どもの消費者教室を実施している。また暮らしの相談窓口を開催。情報誌を

【各部の報告】食糧部「塩について調査、製塩工場見学、在宅介護食について学習。」

衣料部「洗濯表示が二〇一六年十二月から新しい洗濯表示に変更されることから表示例をマークと説明文を示して報告。」

住宅部「住宅リフォームに関するアンケート調査」で、空き家住宅問題、一人暮らしの高齢者増加に伴う

環境の変化に対する施策について。環境部「ごみアートの奇跡映画上映、食

地元特産品並び賑わう

六月二日、岡山市連合婦人会代表七人が、主婦連ゼミ参加に関連して、首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」を視察しました。JR新橋駅から徒歩一分。想像

以上を広いスペースで、一階には鳥取県、それぞれ紹介、販売され、おなじみの品を見て新たに親しみを感じました。二階はビストロカフェ「ももてなし家」。両県の食材を洋風にアレンジし、メニューに工夫がしてありました。ランチタイムは新鮮な野菜

アンテナショップ館内を視察する参加者。コラボで一層おいしくいただきました。お店のなかは大勢のお客で賑わっており、岡山県人として安心すると同時に誇らしく感じました。

アンテナショップ視察

アンテナショップ館内を視察する参加者。コラボで一層おいしくいただきました。お店のなかは大勢のお客で賑わっており、岡山県人として安心すると同時に誇らしく感じました。

同じフロアに東京ビジネスセンターが設置されていて、首都圏での活動拠点として利用できる一坪のレンタルスペースのほか、催事スペースなどが設計されていて利用者には大変ありがたいアンテナショップだと感激しました。説明を聞いてびっくりしたのは、こんな素敵なショップが全国で四十番目の開設という順位でした。今後ますます皆様に愛され、発展することを祈りながらジョインズ生地で作ったコースターをお土産にいただきました。

国立国会図書館見学

国民の文化的財産後世に

六月二日、国立国会図書館を見学しました。この図書館は東京本



国立国会図書館について映像で学習する参加者

国立国会図書館について映像で学習する参加者。この図書館は東京本館（東京都千代田区）、関西館（京都府）、国

で計四〇、二八六、八四三三（平成二十五年）の蔵書は、一日平均約六千点の利用があり、当日も大勢の利用者が静かに書籍を閲覧していました。電子情報などは有料ですが申し出ると複製してくれます。地方の図書館とも連絡ができ、希望する書籍もスムーズに利用できるとのこと。当日利用は十冊まで利用できるシステムで大勢が利用していました。

包装食袋で炊き出し

日赤奉仕団員として活動

総合防災訓練



ハイゼックス炊飯袋に無洗米、水などを詰める会員ら



無洗米と水を入れたハイゼックス炊飯袋



大釜でハイゼックス炊飯袋を炊く様子



防災訓練での炊き出しに参加した婦人会員ら

八月三十日、防災週間に合わせ岡山市と岡山市が防災訓練を実施しました。今年例年と異なり南海トラフ地震に備えた総合防災訓練を県内の十会場で実施しました。消防、警察、自衛隊、日本赤十字社など百一機関が参加し大掛かりな訓練でした。

岡山市連合婦人会は、日赤奉仕団員として、コンベックス岡山会場でハイゼックス(包装食袋)を使用した炊き出しの展示を行いました。ハイゼックス炊飯袋は来場者に

に半分の無洗米と水、フリーズドライの炊き込みご飯の素を入れ、袋の中に空気を残さないようにして口を輪ゴムでとめます。それを沸騰させた大釜に入れ約四十分待つと出来上がりです。炊き上がった二百食

を想像しながら熱心に配りました。簡単な作業ですが、体験を重ねておくことが大切で、実際に現場で作業するときに取り組んでい

熱心に聴講する会員ら



婦人リーダー養成研修会

各自心掛けごみ減量

市環境事業課

福武氏が講演

六月二十二日は岡山市立中央公民館、二十三日には岡山ふれあいセンターを会場に婦人リーダー養成研修会を実施しました。

「ごみの減量と資源化推進」のテーマで、岡山市環境局環境事業課資源循環推進室福武伸之氏に講演をしていただきました。両会場合わせて四百四十四人の参加者は、日常生活に身近な問題であり、関心の高い内容に熱心に聞き入っていました。

特に可燃ごみの八〇%が水分であること、それを工夫して減量することは可能ではないかなど、ほとんどの皆

た。自分ではわかっていても、めんどうくさいからとつい手抜きをして出しているごみについてあらためて考え直す機会をいただいた気がしました。

食品ロス問題については家庭ばかりではなくて買い物先でも賞味期限が迫っているものを買って上手に使う努力をする、必要以上に買いこまないなど、まだまだ個人的にごみ減量は可能だと思えました。

長年の活動に評価

消費者庁 ベストサポーター章受章

市消費生活研究協議会



ベスト消費者サポーター章の授与式

岡山市消費生活研究協議会総会が五月十八日、ピュアリティまきびで約五十人の参加で開催されました。塩見槿子会長のあいさつの中で、議事に入り、平成二十六年度の事業報告・決算報告、平成二十七年年度の事業計画・収支予算案が承認されました。消費者支援に

さんが思ったのでは無いでしょう。持続可能なごみ減量化・資源化に向けた取り組みが一人ひとりの心掛けで良い結果につながられます。私たちが実践していることを

無駄のない美しい環境の岡山、誇らしいごみ処理の岡山を目指したいと思います。



10月中旬、岡山市連合婦人会のWebサイトがリニューアルします!

<http://rengoufujinkai.blogspot.jp/>

岡山市連合婦人会

検索

親子ガーデニング教室

つり鉢作りに挑戦

ペットボトルを再利用

夏休みお楽しみみの親子ガーデニング教室が七月二十二日の浦安総合公園を初日に各地で開催されました。恒例となっている庄内区では七月二十九日に庄内小学校ひかりクラブで、児童と婦人会員ら三十人が、公園協会の熊瀬輝先生ら

の指導でつり鉢作りに挑戦しました。「ペットボトルでこんなかわいいつり鉢ができた」「大きく育つのが楽しみ」皆さん満足して、お手伝いの婦人会員さんも笑顔のひとときでした。

七十年の歴史を持つ婦人会に一時期でもかわりを持ち、先輩の足跡を学び、何か役に立つ役割が与えられるかもしれない素晴らしいチャンスを得ているのではと思っています。大きな組織の中でも個と個の寄り集まり、自分を見失うことなく、皆様のお力添えを頂きながら仕上げていくものは、住みよい未来でありますように頑張りたいと思います。

編集後記

住みよい未来へ

今夏の猛暑、戦後七十年と重い過去の上に安全保障関連法案と追い立てられて、涼風の兆し

かと思えば、台風・竜巻・大雨・洪水と秋の自然も大変厳しいものでした。その上、大阪の中学生の痛ましい事件や高齢者への悲惨な扱い、命が大変軽く扱われています。とらえどころのない怒りや不安を心に閉じ込めながら、でもでも、この国この町を自分に希望を持ち続け、大切な仲間たちや家族を愛しみ、そのために今出来ること、まだ考え次第で出来るかもしれないものは何なのか、幾つになっても探さずにつけていきます。

夏休みお楽しみみの親子ガーデニング教室が七月二十二日の浦安総合公園を初日に各地で開催されました。恒例となっている庄内区では七月二十九日に庄内小学校ひかりクラブで、児童と婦人会員ら三十人が、公園協会の熊瀬輝先生ら



出来上がったつり鉢を手に笑顔の子どもたち



つり鉢作りに取り組む子どもたち